

老上学区 2020. 7. 31 現在 (対6月比) 人口 9,630人 (+47) 世帯数 4,440世帯 (+16)



わがまち老上だより

発行 老上学区まちづくり協議会 編集 地域情報発信委員会 TEL・FAX 077-564-1430
〒525-0055 草津市野路町520番地 E-mail oikami@machikyou.jp

老上学区 **検索**
ふるさと老上のこころ
自主(進取の心) 協同(連帯性)
敬愛(人権尊重)

祝敬老

老上学区の70歳以上の方は1,500人を突破し1,526人おられます。今年は3密を避けて、例年開催の「学区敬老会」は中止といたしました。民生委員児童委員や福祉委員協力のもと対象者の方々には記念品(タオルとマスク)をお配りさせていただきました。

百寿おめでとうございます

今年めでたく百歳になられた川の下の方の福田勝臣様と湖州平の岸田登美様(お二人とも大正9年生)。社協山本会長が福田様を訪ね、百歳到達お祝いの記念品をお贈りしました。



“おめでとうございます!”

福田様、足は弱ったものの顔色も良くお元気で「先日も総理大臣

からお祝いメッセージを貰いました。」と嬉しそうにお話していただきました。

施設入所の岸田様には代理の娘さんに記念品をお渡ししました。

穏やかな夢のような日々を

岸田登美様は老上学区にお住まいになって40年、長きにわたり、老上公民館や老上小学校の子どもたち、地域の方に茶道の先生として教えてこられました。

「100歳を迎えた母は、今新しい施設の中で、明るく夢のような日々を送らせてもらっています。」と娘さん。コロナの影響で母には会えないけれど施設の方にとっていただいた写真をみながら嬉しそうにお話していただきました。

社会福祉協議会副会長 田村 強

令和2年度ふれあい老上まつり中止!!

さまざまな交流の場として定着している大きなイベントの一つであります。ふれあい老上まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止、皆さんの【健康・安全・安心】を第一と考え、残念ではありますが今年度の開催を中止することと致しました。

ふれあい老上まつりの根幹であります“みんなで楽しく仲良く暮らしたい町”・“みんなで幸せを感じられる町”の精神を次年度へも継承していきたいと考えております。 　　ふれあい部会会長 中尾 文雄

ALL 老上ふれあいスポーツ大会も中止!!

新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されましたが、いまだに多くの感染者が確認されています。

参加者などの健康・安全面を第一に考慮し、中止やむなしとの結論に至りました。

老若男女が一堂に会し、親睦を深める場として楽しみにしておられる方には、非常に残念です。ご理解のほどをよろしく願いたします。

体育振興会会長 奥野 久雄

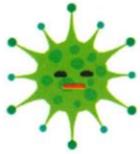
老上やすらぎ学級

センター講座の一環として、毎年高齢者向けの「やすらぎ学級」を開講しています。今年度も66名の学級生で5月に開講式を行う予定でしたが、コロナ禍の影響で、中止を余儀なくされました。その後、運営委員さんと共に、何とか開講できないかと知恵を絞り、学級生を2部に分ける事で開講できると判断、7月3日に無事開講と第1講座開催へこぎつけ、久しぶりに学級生が顔を合わせ、学び合う機会となりました。今まで当たり前のように参加されていた講座などが約

3か月にわたり中止となり、その間出かける機会も減り気味だったと推察されますが、今後も安全策を充分確保した上で、学級生の皆さんが出会い、学び合える場を提供できるよう、運営委員さんと共に工夫を重ねていきたいと思ひます。



センター長 日下部 純子



コロナに負けない！感染対策を工夫して

新型コロナの感染拡大防止のため令和2年4月16日から5月末まで市内のまちづくりセンターが臨時休館という事態になりました。

人々が集まって、話し合い、ふれあい、学び合うという場がなくなっていました。

6月からようやく貸館が再開、飛沫感染の危険性の高い活動には相応の制限を設け、利用者がまちづくりセンターの感染予防対策(右側 check 欄)を守り、それぞれが工夫して活動しています。

今回は、そんな老上まちづくりセンターの自主教室(9団体)を取材しました。詳細は、老上まちづくりセンターHPをご覧ください。

- マスク着用で来館
- 手洗い、手指消毒、検温後に入室
- 活動終了後、消毒液にて机、椅子、ドアノブ使用した道具の消毒
- 2時間に1回以上の換気を実施
- 人と人との間隔を最低でも1メートル以上確保
- 大声の発声や不特定多数の参加者での会話を避ける
- 全ての参加者とスタッフ等の連絡先を把握



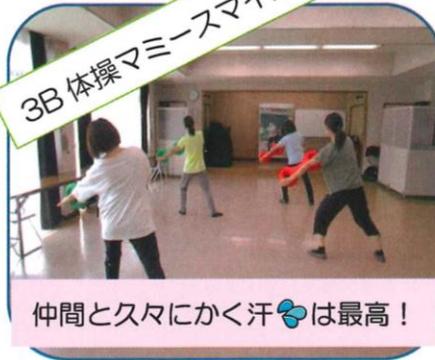
こまめに換気、道具の消毒をしています

つくし



お手製のマスクで感染対策

3B体操マニースマイル



仲間ととまにかく汗は最高！



老上セラバンド



一緒にできることが継続の励み

十分に距離をとっています

湖国子ども将棋教室将太郎クラブ



毎週土曜日、来るのが楽しみ

コーラスどりいむ



歌えることに幸せを感じます

健幸ランポリン



みんなと集う貴重な時間

吟友クラブ



会員増で吟詠万々

手消毒、検温、マスク等の着用を徹底します

男性料理の会
じゃがいもの会は
活動をお休み中
です！



手話は手の動きだけでなく口の動き、顔の表情と3つの動きを見るためフェイスシールドで飛沫をガード



手話サークル赤とんぼ

できないことがあるならできることを全力で楽しもう!

青少年育成区民会議



学校に行きづらい小中学生のフリースペースとして今年度から活動しています。感染症の影響で活動ができない間は再開に向け方法を模索する日々でした。

今は、距離をとり換気を行うことを中心に、月1回のイベントは◎夏野菜を植え育てる◎マスクを作るなど密を避けた内容で。地域の方々のお世話をいただきとても立派な夏野菜が収穫できました。 磯嶋 玲子

8月6日19時30分より1時間程、青少年育成による「声かけパトロール」を行いました。この日は、まちづくりセンターから南草津駅、フレンドマート周辺を巡回しました。

コロナ禍のためか、まちはひっそりとしていました。涼しい風が吹く夜でしたので、ウォーキングを楽しむ方も複数おられました。 杉江 道代

ALL 老上スポーツクラブ



窮屈な条件の中



7月4日から活動を再開しました。

参加者の検温、体調チェック、手、指の消毒、トイレの水道蛇口等接触した箇所の消毒、全ての窓の開放と扇風機による換気など参加者全員が厳守し楽しく且つ、健康的に運営しています。 永田 卓



~ステイホームの過ごし方~

さまざまな団体が、工夫をしながら活動している現在の様子を紹介してきましたが、緊急事態宣言が解除されるまでの自粛期間を、私たち情報発信委員がどのように過ごしていたか、そのアイデアを紹介します。ちなみに私は、お酒を片手に大流行中の「あつ森」で、夜のオンラインママ会を楽しみました。(ドラっくま)

「オンライン帰省」TMR

関東地方と欧州に住む娘二人から、オンライン帰省を提案され、初経験。離れていてもお互いにリラックスした普段着姿が映し出され、一瞬にして帰省モードに突入。お土産の心配も交通費も不要で、今後はこちらが主流になるかも。



※十年に一度咲くという、TMR 家のソテツ(蘇鉄)の雄

「半世紀を超えて親密度アップ」テラちゃん

中学の部活仲間から、突然の連絡で始まった流行のWEB会議。「はがき新聞」も登場して、総勢8名が、どれかの方法で繋がるようになった。そして、時間を決めて週1回、交流が続いている。「まずはやってみる。できないと言わず工夫してみる」という50年以上前の少年少女時代の再現で盛り上がっている。

「子供とのかけがえのない時間」S.K.

子供たちと一緒になわとび、ハンドクラップなどたくさん運動することができ、おかげでブレイブボードを乗りこなすことができた。子供と同じ時間を過ごすことで会話が増えた。

「物憂い~PPKに歌って~」ハタボー

コロナ禍自粛中にハイクラスの高齢者域へと入った。ありがとう、感謝。私は短いようで長い軌跡、自分史に歌っていた。コロナ禍の収束にはまだ時間を要するが、お互いさまに、これから人生、まだまだ人生がある。どうか PPK(ピン・ピン・コロリ)でありますように…。

「エコな生活と文通」M

スーパーで買った豆苗、人参、アボカドの種を食べた後に再栽培!ちょっとした観葉植物に。成長を見るのが楽しい!(大きくなったら食材に。)

また、県外で会えなくなった孫や、面会禁止になった施設の母に手紙を出すことを始めた。返事をもらうと、とてもうれしい。



「料理を楽しむ」Y.K.

私は毎日仕事だったが、ときどき大学生の息子が、ローストビーフ・ミートパイ・バターチキンカレーと、手間のかかる料理を作ってくれた。帰ったらごはんができている幸せ!レポートリをもっと増やしていきたいそう。

老上ふれあい農業合校

コロナ禍の中…普段の食事の大切さを改めて感じました。今ある自然や暮らしを自分たちで守らなければいけません。農業の意義やありがたみを知りたくなりました。

合校長の小寺一久さんにお話を伺いました。



老上ふれあい農業合校は本年開校 21 年、地域のつながりを大切に小学校や幼稚園とも交流を深めながら、活動を続けてきました。今年度は子ども達の活動参加はできませんでしたが、学校の先生方と協力して作物の苗を植えるなどして交流を絶やさず、自分達が今できることを頑張ろう！という強い姿勢を感じました。(nishimoto)

老上ふれあい農業合校の活動日は、第1、3土曜日9時～11時です。他にも老上こども園、小学校、老上学区まちづくり協議会事業(わんぱくプラザ老上)のサポートをしています。
メンバーはサポーター28名、農業合校生は、3家族9名です。気軽にどなたでもご参加ください(^^)/



～5月の朝市はふれあい農業合校の農園で～ 朝市は、第2,4金曜日8:30～10:30 まちセン前に赤い旗上がってます

平成29年11月から始まった老上ふれあい朝市。コロナのために、いつもの朝市の場所の老上まちづくりセンターが休館となったため、場所を農業合校の農園に移動して開催しました。休校で日頃は来られない子どもたちも親御さんと一緒に田んぼや畑の生き物などを見つけて、遊んでくれました。お店に並んでいる野菜がどのようにして作られているのかも食育の一環として知っていただけたかと思います。

生活安全安心部会が 環境講座 を開催

参加者感想から

老上まちづくり協議会生活安全安心部会が7月21日に滋賀県循環社会推進課の澤井さんを講師に「あなたの取り組みで世界が変わる」をテーマに環境講座を開き“レジ袋有料化”と“食品ロス”について考えました。



心得ていることだが改めて認識を深めました。この講座に参加して20余人の人たちに会えたこともうれしかった。

食品ロスが出た場合、受け取ってもらえる団体などの紹介があればよかった。

草津市社会福祉協議会が「フードバンク事業」で寄付を受け付けています。詳しくはお問合せください。(TEL:077-562-0084)



プラゴミ削減で環境保全



食べ物の無駄をなくし、売り手よし！買い手よし！環境よし！

宴会開始30分は食事に専念、その後歓談し、宴会終了10分前には料理を食べ切ろうという食品ロス対策は、コロナ禍で全国的に宴会自粛されている中で間の悪いテーマではありましたが、農産物は人がいっぱい手を掛けても天候や病虫害により出来上がりが大きく左右される、天からの恵みです。食べられる量を準備または注文し食べ残しを出さないことが大切です。個人的には肥満が気になり最初から腹八分目の量を目指しています。

シリーズ 「老上みらい応援隊」

わたしにもできる
ボランティア

老上学区まちづくり協議会は住民が主役の活気に満ちあふれたまちづくりを目指しています。老上みらい応援隊は自分に関心を持つ分野で、まちづくりに参加できるボランティア活動です。今までにも紹介してきましたが、さらに詳しく知りたいという声を受けて、活動内容や参加者の想いをシリーズで取り上げます。

① 情報発信委員会

老上まちづくり協議会の情報紙「わがまち老上だより」を作っています。メンバーのおもいを添えて紹介します。

作成の流れ

企画

1回目編集会議

- ・前号の反省
- ・次号の企画立案
- ・取材、執筆、紙面作成の担当とスケジュールを決める

担当ごとに動く

- ・取材して原稿を書く
- ・執筆依頼をして原稿を集める
- ・写真や資料も用意する
- ・原稿をチェックする

2回目編集会議

- ・記事内容の補充の有無
- ・紙面の割り付けの確認

紙面のレイアウトをして作成

- ・ページごとに分担

3回目編集会議

- ・校正（文章の間違いや不備を直す）
- ・紙面の見やすく修正

校了して印刷会社に発注

配布（町内会などの皆様にお手数をおかけしています）

記事作成

紙面作成

印刷・配布

老上みらい応援隊
かめりん
情報発信委員会

年4回発行しています。感想を聞かせてください。



取材

老上みらい応援隊
かめきち
情報発信委員会

取材に行きます。情報を寄せてください。

↑取材時の名札



(マスクの下は笑顔です)

ひざを突き合わせて話したい、密着取材もしたいけれど三密回避！事前資料や議事録配布、メール活用でテレワーク！私たちの新型コロナ対策です。

老上愛にあふれた素人が作るからこそその面白さ

寺尾 善明 委員長 委員が100人になったなら。その中にこどももいれば100歳の大人もいたなら、どんな紙面になるだろう？

田村 強 副委員長 記事は生き物。旬を外すと興味半減。タイムリーな記事、知りたいコンテンツで、学区民にプラスに働くことを目指す。

磯嶋 玲子 副委員長 かめきちの相棒のつもりで紙面作成を楽しんでいます。「楽しみにしている」と声をかけていただくことが、うれしい。

栗巣 有香 取材・原稿・レイアウトと悩みながらも、出来上がったときは嬉しいもの。いろいろな年代のかたと知り合って、楽しい。

黒川 清香 自分が住んでいる地域をより詳しく知り、より好きになりたい。そこで知った魅力を同じ想いの皆さんと伝えていきたい。

西本 友紀枝 発展する中でも豊かな自然に恵まれた、老上学区で暮らせることに幸せを感じます。その気持ちを紙面に載せていきたい。

長谷川 香純 縁もゆかりもなかったこの土地に、またひとつ居場所ができました。あたたかい人たちの魅力も伝えていけたらいいな。

畑 寛 健康保持、介護予防には「体と心と社会参加」パソコンができなくても、それなりの役割があります。「而今感謝」です。

古市 猛 体振とやすらぎ学級で係わり続ける中、センターの山林マジックにかかり委員になっていました。まだ魔法が解けず。

松村 玲子 働くことを卒業し、次は何をしようかと思っていた時、声をかけていただき参加。地域の情報を楽しく発信していきたい。

老上の情報はここからも

老上学区まちづくりセンター事務局から出されています。学区内の各種団体から発行されている広報紙もセンターに置かれています。

コンニチ話おいかみ

毎月1回配布。お知らせやイベントカレンダーを掲載しています。

2020年9月 イベントカレンダー

ホームページ

老上学区 検索

じっくり読めて便利です。広く学区内の情報が得られます。情報紙のバックナンバーもあります。

LINE (ライン) 役立っています

リアルタイムに最新情報が自動的に手元に届いて、外出先でも確認できます。

利用者の方の声

- 「なんたって手軽」
- 「四コマ漫画」「おいかめちゃんをあげられたらいいな」
- 「無料というのが魅力」
- 「ホームページ更新のお知らせがあるといいかな」
- 「おいかめちゃんのスタンプができたらいいな」
- 「老上中学校の生徒のことを知らせてくれた。他の人にも伝えられた」

おいかめちゃんのページ



かめきちが行く!

かめきち
さんぽ

おいかみはってんちゅう

老上発展中! ~南笠エリア~

みなみがさ

今日は新しいまちをおさんぽ。マスクを作ってもらって感染症対策もバッチリ! わあ~田んぼだったところに新しいおうちがたくさん。まだまだ住宅街が広がるんだよ。新しいまちのみんなにも早く会いたいな。



稲荷神社前の
道路が広がるよ



旧十禅寺川



一本木の周りも
住宅ができるよ



新十禅寺川

公園から
駅前のマンションが
見えたよ

一本木

おあみがわ
狼川

マンボ



地域の方に
案内して
もらったんだ



マンボや狼川も
おさんぽ!



かめりん
コーナー

シリーズで
ご紹介!

おいかみがくくぼうさい びくく あっぶ 老上学区防災カルタ pick up! 一台風がくるぞ! 編



植木鉢

暴風前に片付けよう

暴風は何もかも吹き飛ばし
凶器となります



近づくな

大雨洪水 川のそば

平常は穏やかな河川でも
急な増水があります



風水害

ハザードマップが頼りだよ

必ず一読
ハザードマップや防災マップ

かめりん防災豆知識

台風が来る時は、進路を見ておこう。雨戸やシャッターなどをしっかり閉めておこうね。地域などの情報を知り、安全な行動をしよう。(SOS委員会 岡田)



おいかめちゃん

感染症による自粛生活は人を委縮させてしまいそう。6月からは学区の皆様のご努力により元気を感じられるようになってきました。本号は明るさを感じていただけるような紙面をお届けしようを合言葉に編集いたしました。アフターコロナとして語り合える日が一日も早く迎えられるように。(M.H.)